

1 おもちゃを作ろう

小問番号	採点基準
1-1 科学の法則とおもちゃの作りを関係付けて考えること	解答の通り 1-① 1-② 1-③
1-2 グラフを読み、その結果を適用して考える力	ウ 1-④ 30回まくと5.9m, 60回まくと12.3mだから、その間の6m～12mに止めるためには、プロペラをまく数はだいたい30～60回の間によい。だから、40～45回まけばよい。 1-⑤ ※プロペラをまく回数を、実験結果(30回・60回, 5.9m・12.3m)を活用して、数値を根拠に述べている。 ※30回と60回の間回数が、妥当であることが述べられている。 ※答えを導くための根拠が妥当である。 <正答例> ・6m～12mの間に止めるには、30回より多く、60回より少なくプロペラをまかなくてはいけないから。 ・5.9mより長く、12.3mより短い所で止めるには、30回と60回の間回数をまけばよいから、40～45回まくといい。 <誤答> ・40～45回だとちょうどよく止まるから。 (実験結果を根拠としていない。) ・6mより遠くにするためには、30回より多くまけばいいから。 (数値を根拠としているが、12mを超えないようにするための根拠が述べられていない。)

2 4年 植物の育ち方

小問番号	採点基準	
<p>2-1) 観察カードから 植物の育ち方 について考える力</p>	<p>大きくなる。 ※葉が「大きくなること」が記述されている。 ふえる。 ※葉の「枚数がふえること（多くなること）」が記述されている。 <誤答> ・育つ（どうなるのかという具体的な記述が無い）。</p>	<p>2-① 2-②</p>
<p>2-2) 虫めがねの使 方</p>	<p>虫めがね・たねをのせた手</p>	<p>完全正答 2-③</p>
<p>2-3) 植物の育ち方 の理解</p>	<p>ク→ケ→カ→キ</p>	<p>完全正答 2-④</p>
<p>2-4) 観察カードから 植物の育ち方 の共通点につ いて考える力</p>	<p>①, ④</p>	<p>完全正答 2-⑤</p>
<p>2-5) 観察カードから 植物のからだ のつくりの共 通点につい て考える力</p>	<p>ホウセンカもヒマワリも、根、葉、くきからできている。 ※「くき」「根（根っこ）」「葉（葉っぱ）」の3つの言葉のみを選んで記述されている。 ※植物のからだのつくりとして妥当である。 <正答例> ・根の上にくきがあって、葉っぱがくきについている。 ・根、くき、葉がある。 ・根の上にくきや葉がついている。 ・ホウセンカは9まい、ヒマワリは8まいの葉っぱがあるけど、くきは1本で、根はたくさんあります。 ・ホウセンカもヒマワリも、根っことくきはにているけど、葉っぱの形はちがいます。</p>	<p>2-⑥</p>